

-CONTENTS-

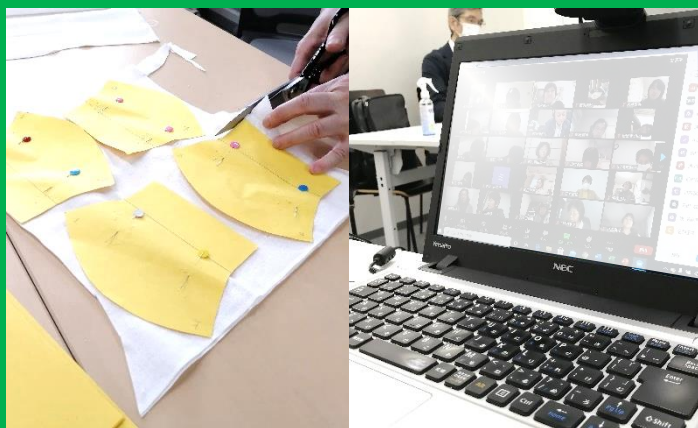
リモート座談会

横井利明さんに 名古屋市のコロナ対策を聞く -P2



P4 ① Q&A 「がんとコロナ」を正しく知ろう!!

② 新規ピアサポーター養成講座 ご案内



Message

コロナ禍も早や1年あまりを過ぎたというのに、収束は未だ不透明な状況です。この間の2度にわたる緊急事態宣言は、拠点病院におけるピアサポートの休止など、ミーネットの活動に少なからぬダメージを与えました。

その一方で、感染拡大から患者さんとピアサポーターを守りつつ、支えあいの灯をともし続けるために、リモート相談やリモート患者会の取り組みが進みました。相談する人、受ける人、互いの通信環境の違いや、リモート対応技術の問題など課題は多いのですが、従来の対面型相談も大切にしながら「誰も取り残さないリモート・ピアサポート」を充実させていきたいと思います。

名古屋市を活動の拠点とするミーネットは、名古屋市のコロナ対策に関心ではられません。コロナによる病床の逼迫が、がん患者さんの治療にもたらす影響など、当然のことながら心配になります。

そこで、がん遺族でもあり、ミーネットの活動の良き理解者でもある名古屋市会議員の横井利明さんが、精力的にコロナ対策に取り組んでいることから、リモート座談会としてお話を伺いました。

次の号が出る頃には、コロナ収束の見通しもつき、明るい話題が届けられればと願っています。

NPO 法人ミーネット 事務局一同

がんになった あなただからこそ できることがある
悩みを分かち合い ともに考えるピアサポート



リモート座談会

横井利明さんに

名古屋市のコロナ対策を聞く

待ったなしの新型コロナウイルス対策

聞き手：NPO法人ミーネット理事長 花井美紀・がんのピアサポーター 伊藤和直

収束への見通しが不透明なだけに、コロナ対策は心配なことばかりです。医療機関は大丈夫？ ワクチン接種は大丈夫？ 飲食店は大丈夫？……などなど。

愛知のがん対策は、やはり県都の名古屋が要です。

名古屋市のコロナ対策に精力的に取り組んでいる名古屋市議員の(3月13日時点) 横井利明さんに、ミーネットの花井とピアサポーターの伊藤さんが、リモートでお話を伺いました。

※本座談会は3月13日に収録されたものです。



病床の確保は県と市との調整が重要

花井：テレビなどを観ていると、コロナ対策というのは市町村と県、国が一体となって進める必要があるのだなと感じます。いろいろとご苦労があると思うのですが。

横井：そうですね、名古屋市で言えば、県との調整が何より重要です。調整というのは交渉が絡んできますから、難しく悩ましいものですが、関係部局と一体となって取り組んでいます。皆さんにはご不便をかけたと思いますが、飲食店などの休業要請や時間短縮要請の調整は、どうしても必要なことでした。

伊藤：コロナ感染者の急増で、病床が逼迫しましたね。そんな中でも、がんと診断される人はいるわけで、治療への影響が出るのが、とても心配でした。

横井：そうですね。ご心配かけましたね。できる限り、そうした影響が出ないよう、病床調整の依頼を愛知県に対して何度も行いました。これは健康福祉行政の領域ですが、何かを行うには財源が必要です。財政局との調整や、県と市の調整の場を設けることも少なくありませんでした。がん患者さんへの治療の影響は、病床的にはいま、問題ないと思っています。

コロナ対策はスピードが命

花井：「対策」と一口に言っても、いろいろと大変なんですね。市と県の調整だけでなく、市から国への働きかけというものもある

んですか？

横井：もちろんです。国への働きかけは、国会議員を通して、大都市に対する新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額などを求めました。そして、とにかく、病院を支援する必要があります。このコロナ禍で経営に苦しむ病院への、支援の制度化を厚生労働省に強く求めました。

花井：県との調整、国への要請。こうした対応は、本来、市会議員の仕事なんですか？

横井：おっしゃるような行政事務や予算編成事務は、本来なら議員の役割ではありません。新型コロナウイルス感染症への対応は待ったなしで、市のトップには一瞬での確かな判断をおこない、直ちに予算立案。議決を経て事業を執行し、ひとりの命も失わないといった対応が迫られています。

しかし、この1年間、国・県・市・場合によっては近隣市町村との調整に、私が走らざるを得なかったという状況がありました。

まずはワクチンの速やかな接種

伊藤：いま「コロナへの対応は待ったなし」と言われましたが、名古屋は定額給付金の支給が全国でもっとも遅かったんですよね。小中学校の休校に備えて国が支給を急いだ子どもへのタブレット配布もしかり。こんなふうだと、今後はじまるワクチン接種も名古屋が一番遅い、なんてことになりませんか？ 私たち、がんという病を持つ患者と家族の団体としては、とっても心配に

なります。

横井：そのご心配は、ほんとによくわかります。もちろん、1日も早い新型コロナワクチンの速やかな接種を進めますが、その前提としてわかりやすく、市民の皆様にも安心して接種していただけるような接種体制を構築しなければなりません。これはとても重要なことです。市は、名古屋市医師会と連携し、できる限り主治医または身近なクリニックで接種できるような体制を整えることが急務です。それと、皆さんがお使いのスマホで、簡単に予約できる仕組みづくりも必要で、この二つは早急に実現したいことで、今準備を進めているところです。

伊藤：かかりつけのクリニックでワクチン接種ができれば、便利だし安心です。ぜひ実現してください。

新しいことに どんどんチャレンジを

横井：伊藤さんがおっしゃるように、なんといっても「安心」「便利」が一番ですからね。

私からも聞きたいのですが、このコロナ禍で皆さんの活動への影響はどうでしたか？

花井：かなり、ありましたね。私たちは、名古屋市がん相談・情報サロン ピアネットと、愛知県内 20 のがん診療連携拠点病院等でピアサポートを実施していますが、緊急事態宣言後は、一部あるいは全面中止になりました。がんのピアサポートは、相談するほうも受けるほうも、どちらも患者、あるいはがんの体験者なんです。コロナ感染対策には、健康な方の何倍も慎重にならざるをえませんでした。

横井：それは大変でしたね。でも、こういう社会的不安の高い時期こそ、がんのサポートは必要とされるんじゃないですか。

花井：そうなんです。がんコロナで 2 倍の不安とおっしゃる方も少なくないです。急ぎ、相談支援のリモート化を進めました。いまは、同じがんの患者さんが集まって話し合う患者会も、リモートと会場参加のミックス型で行っていて、それなりに好評です。

伊藤：リモート患者会なんて、夢のまた夢でしたよ。コロナがなければ、あと 10 年くらいは実現してなかったんじゃないですか。

横井：すごいなあ。議会のほうが遅れてるなあ(笑)。でも、そういうポジティブな考え方が活動を発展させていくんじゃないですか。何かと悩みの多いがん患者さんには、とても必要とされる活動なので、その調子で新しいことにどんどん取り組んで下さい。



Profile 大生小学校・港西小学校教諭を経て、名古屋市議員 8 期 当選。第 85 代 名古屋市長 自民党名古屋市議員団 団長など。2009 年から毎日、市政に関する情報発信を続けている「横井利明オフィシャルブログ」は、閲覧者数 1 日当たり 1 万人から 2 万人にのぼる。

市民の憩いや楽しみを奪わない対策を

花井：有難うございます。名古屋市のコロナ対策も「コロナがあつて、こんなことができた」という、何か市民にとっていい形で実現できることがあるといいですね。

横井：そうなんです。今はまだ、私個人の考えに過ぎませんが、飲食店における感染拡大のリスク低減と市民の憩いや楽しみを合わせ持った方法を実現したいと思っています。何かというと、感染リスクの低い屋外で飲食店の経営ができるようにする。そのために歩道上における営業許可を緩和して、事業者の方の支援にもなり、市民の皆さんにも安心して飲食していただけるオープンカフェやオープンテラス、オープンバーなどを推進します。もちろん、もう一つの安全として、交通量や歩道幅員など一定の制約を設けます。

伊藤：わあ、いいですね。それもぜひ、実現してほしいですね。街の景観も変わるような気がします。

横井：実現できると思います。もう一度言いますが、とにかく、コロナ対策は「待ったなし」ですからね、頑張るしかありません。皆さんも、コロナ禍で活動の灯が消えることのないよう、身体に気を付けて頑張ってくださいね。

※本座談会は 3 月 13 日に収録されたものです。

Q&A がんとコロナを正しく知ろう

緊急事態宣言は解除されたものの、感染者数は乱高下を繰り返しており、このままだと第4波の可能性もあるといわれています。感染防止に慎重になるあまり「自粛しすぎ」もよくないようですが、どんなことに気をつけ、どんなことを知っておけばよいのでしょうか。Q&Aにまとめてみました。

参考：「新型コロナウイルス感染症とがん診療について 患者さん向け Q&A」

がん関連 3 学会（日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会）合同連携委員会 新型コロナウイルス（COVID-19）対策ワーキンググループ（WG）作成 他。

Q1 がん患者は新型コロナウイルスに感染しやすいですか？

A 新型コロナウイルス感染症は免疫力が低下した状態で感染する可能性が高いといわれています。がん患者は、がんそのものによって免疫状態が低下している可能性があります。また、化学療法をはじめとして免疫状態が下がる治療方法が用いられますので、十分に注意が必要です。

Q2 現在、がんの治療中ですが、治療を延期した方がよいのでしょうか？

A 感染状況などにより、がん治療を延期した方がよい場合には、主治医から提案や説明があるでしょう。自分で判断することなく、主治医とよく相談してみることがなによりも大切です。また、マスクを着用する、小まめに手を洗う、換気する、家族以外との会食を控えるなどの対策をこれまで通り行いましょう。



Q3 コロナで診療の予約や治療予定が延期になりました。がんが進行しないか心配です。

A 主治医はがんの進行状況や治療の効果、地域の流行状況などから総合的に判断して治療方針を決めています。もし心配なことや質問があれば、その内容を書き留めておき、主治医に忘れずに質問してください。

Q4 がんの手術を受ける予定でしたが、延期した方がよいのでしょうか？

A がんの種類や進行度によって手術を延期した場合にどのような影響が出るかは異なります。今の時期に手術をした方がよいのか、延期すべきか、あるいは手術以外の治療を行うのか、主治医によく相談をしてください。

Q5 現役の患者です。やはり外へ出るのは控えたほうがよいのでしょうか？

A コロナを恐れるあまり出歩かなくなると、足腰の筋肉が衰えます。また、人としゃべる機会がなくなると、口の周りの筋肉が落ち、噛む力や飲み込む力、話す力が弱くなり、認知症も発症しやすいといわれています。家の中でもいいので歩くこと、家族あるいは電話やオンラインなどで人と話すことを心がけましょう。 ※訪問診療 長尾クリニック 長尾和宏 医師の意見・参考



がんを体験した あなただからこそ できることがある

ピアサポーター養成研修のご案内

コロナ禍の中で、がんを罹患した方々は、がんとコロナの二つの不安と悩みを抱えています。思いを分かち合える身近な相談役が求められますが、がん診療連携拠点病院などでのピアサポート活動は、まだまだ全面再開とはなっていません。いま、全国的にも、ピアサポート活動は安全で安心なリモート化が急速に進んでいます。ミーネットでは、ピアサポートの基本と、リモート相談支援のスキルを備えたピアサポーターを養成します。あなたもピアサポートを学び、わたしたちと一緒に活動しませんか？

対象 がんの体験者でパソコン通信環境をお持ちの方
一定の治療を終え、体力的に問題なく受講できる方
受講後、定期的にミーネットのピアサポート活動に参加できる方

※詳細は、4月20日以降、HPに掲載を予定します。

ピアサポートとは
「体験を共有し、ともに考え、ささあう」こと



受講費無料
定員:10名